

*** メールマガジン No.136 - 2011.6.10***

*** NPO KEEP LEFT メールマガジン NO.136***

【災害復旧自転車】

東北地方太平洋沖地震の復興に向け、京都造形芸術大学ウルトラファクトリーに集まったアーティストやデザイナーが立ち上げたプロジェクト

「VITAL FOOT PROJECT」。↓

<http://www.a41.jp/profiles/blogs/vital-foot-project>

リーダーの 椿 氏は、

「阪神淡路大震災を経験した実体験に基づき、まず水や灯油を始めとする生活物資を被災地の隅々にまで届ける自転車用トレーラーをカスタマイズして現地へ寄贈します。続いて設計製作を開始する災害復旧自転車のプロトタイプ1台をベースに、VF オリジナルモデルを1ヶ月後にリリースします。この一台を起点に世界に向けてアーティストエイドを訴えかけます。このプロジェクトは、クリーンエネルギー社会を目指す1台の自転車を造ることから始まり、複合的な復興支援を今後10年間継続する息の長い運動として成長させてゆきます。」

とおっしゃっています。

被災し厳しい生活をしいられている人々に、日本や世界の人々が様々な形で手を差し延べておられる。

特に、被災地での移動・運搬に自転車を！ との活動は、我々NPO KEEP LEFT としては拍手を送りたい思いです。

10年とは言わず永遠に続けて頂きたい。

自転車の有用性は、災害が起ろうが起るまいが不変の事実です。

困った時の便利グッズではない、環境に優しい移動・運搬のお道具としての「自転車の普及」のステップとして「VITAL FOOT PROJECT」の成功をお祈り致します。

しかし、今回の災害に対し日本の自転車業界さんは何をしているのかな？

あまり好ましい話しは聞こえて来ません。

メディアは、政府の無策や失態を取り上げる片側で、もっと多くの良い事を取り上げて頂きたい。

「VITAL FOOT PROJECT」を始め、被災者を助け復旧・復興に努める数多くの活動を世の人々に紹介し、それぞれの成り行きや結果を皆で精査し、復興そして環境破壊のスピードを緩やかにする社会造りを目指して頂きたいものです。

「VITAL FOOT PROJECT」に関しても、懸念材料が見えます。

◆ 乗手の安全管理

*現状の被災地で「自転車の安全利用」を唱ったところで、皆さんからお叱りを受けるでしょうが、将来に向け大切な事と思います。

◆ 自転車の安全性

*旧 VIVALO の日下さん？ が、火入れしたフレームであればフレームは問題なしと想像しますが、重量物を載せたキャリアを装着したら

ブレーキの性能が問題です。これもプロトタイプの写真を拝見したかぎり、立派なディスクブレーキが装着されている様なので、

安心かなあー 想像ですが。

今の世の中ですから、事故が起れば製造者責任を追求される可能性はあります。

「VITAL FOOT PROJECT」さんの善意が、裏目に出ない様に望みます。

◆ 軽車両である自転車には、確か「全長の長さ制限」「搭載荷物の大きさ制限」が、あったのか・・・すでに無くなったのか・・・？

*行政が開示している法令には、昔は明記されていたのですが、最近では明記されていない・・・。行政は返答してくれません。

これも、重大な事故を起こさない限り無視、事故が発生した時に持ち出して来る、毎度毎度の対応です。

自転車の安全・安心・快適利用を目指す NPO KEEP LEFT 理事長の立場からの発言です。

「VITAL FOOT PROJECT」さんの活動に、水をさすつもりはありません。

物事の是非は、やってみないと判らない。

プロジェクトの成功を祈りながら、我々は「自転車の安全・安心・快適利用」を提案していきます。

ところで、

VITAL FOOT PROJECT に参画されている 日下周一 さん て、 旧 VIVALO の日下さん？ の 事かな？

誰か情報下さい。

佐原

「安全、安心、快適な自転車利用」

特定非営利活動法人 NPO KEEP LEFT

理事長 佐原 純一郎

*** メールマガジン No.137 - 2011.6.13***

*** NPO KEEP LEFT メールマガジン NO.137***

【自転車出張修理】

先日、二階の事務所で片付けをしていると “シュ、シュ、シュ！” と聞き覚えのある、耳に心地良い音が！

間違いなく自転車のタイヤに空気を入れる音。

これは、向えの集合住宅の誰かさんが、タイヤに空気を入れているのかなあ？

長年、お向えさん達の自転車（ママチャリ）を目にして来たが、一度もタイヤに空気を入れているのを見かけた事が無い。

誰が、空気入れを調達し、タイヤの空気を入れているのかなあ・・・。

と、窓から眺めてみると、なんと！ 向えの若奥様と男性が そしてスクーターに載せられた大きな工具箱の横には

「自転車出張修理専門 出張費無料！」と書かれている！

なるほど「自転車修理の出前か！」 これは、NPO KEEP LEFT としてインタビューしなければ！！

名刺を用意し、自己紹介をし、聞き取り調査の始まりです。

解った事

◆ 小さな二人の子供さんを抱える若奥さんには、近くの自転車屋さんへパンク修理の為に自転車を持っていく時間が無い

◆ 出張の自転車修理であっても、自転車屋さんの修理代と価格が変わらない、もしくは安い

◆ 多い日には 10 件程度、中には一件も発生しない日も 何とか飯がくえる程度

◆ お客さんのクチコミと携帯サイトで顧客獲得 忙しい奥様方のネットワークはもの凄い

◆ ほとんどがパンク修理

10 分程度の立ち話でしたが、この変なおじさんの質問に快く答えてくれた 若奥さんと出前修理の彼

有難うございました。

若奥さんの「助かった！ 良かった！」が残った一時でした。

思った事

◆ ママチャリユーザーにとってはパンク修理は大問題 それを商売にしようとするのはナイスな発想

タイムリーなニーズをタイムリーに仕事にする

- 便利グッズのユーザーはどこまでも便利さや簡単さを追求する
- ◆ 自転車のメンテ（パンク修理）は、自転車屋さんの儲け仕事
店舗をかまえ、お客に来てもらうのは大名商売か???
 - ◆ 他人任せのユーザーの問題か???
 - ◆ 出会った出張修理の彼は、自転車整備の資格保有者か？ 聞くのを忘れた！
制度や規制が整備されていないのが問題
 - ◆ ママチャリと自転車（オンロードを走る自転車）と区別し、自転車の運転免許・保険・車検 制度を確立し、
我々自転車乗り自ら「安全・安心・快適自転車利用」のお手本と成るべき！
そして、同時に安全・安心・快適な環境を提供してもらいたい!!!
責任を果たした上で、権利の主張！

佐原

「安全、安心、快適な自転車利用」
特定非営利活動法人 NPO KEEP LEFT
理事長 佐原 純一郎

*** メールマガジン No.138 - 2011.8.22***
*** NPO KEEP LEFT メールマガジン NO.138***

【ご無沙汰しております】

読者の皆様、ご無沙汰しております。

前回のメールマガジン発行が6月中頃でしたので、2ヶ月間メルマガの発信をサボっておりました。

メルマガを書くにあたっては、極力楽しい事や素敵な事を発信したいと思っております。

2ヶ月間発信していないのは、楽しい事や素敵な事がなかったのではなく、世の中の出来事や有り様が余りにも情けなく、メルマガを書く気が起らなかった訳です。

政治、行政、経済活動、人々の生き様・・・ 責任を取らない、責任逃れ、無責任が蔓延している。

仕事をしていても、人間性の欠片もないコンプライアンス（トップの責任逃れ）でがんじがらめに縛られたかわいそうな人ばかり。

自転車に乗っても、自分勝手な道路利用者（無責任な連中）が多すぎる。

電車に乗っても、夜の街に出かけても、買い物に行っても、横着者や無礼者（無

責任な連中)ばかり。

メルマガを書く気がなかったと言って、なりを潜めていた「突発性うつ症状」「慢性無気力症」が発症したのではありません。
ボヤキのメルマガを発信するよりも目の前の楽しい事や素敵な事が先と思い。
公私ともに忙しく、前向きに過ごしていた結果です。(笑い)

来月で NPO KEEP LEFT は第四期を終えようとしております。
メンバーさんの中には、100Km 以上のロングライドを軽くこなす人、巡行速度 35~40Km/h で涼しい顔の人、ヒルクライムレースに出走する人、新車を手に入れご満悦の人、市民レースへの参加を目指し練習に明け暮れる人、体重が落ちシェイプアップした人、健康体になり体重が増えた人、日々の生活に自転車
が欠かせなくなった人、 等々。
皆さんの走破能力のアップと自転車への入れ込み、そして安全・安心・快適の追求には、驚き、喜びでいっぱいです。

継続こそ力なり！

4 年の間、人様を巻き込む重大事故なし！！

継続こそ力なり！！！！

自転車の安全・安心・快適利用！

継続こそ力なり！！！！

そんなこんなで、第五期目の会員更新と新入会員さんの募集中です。

会員の皆様には、会員連絡メールで更新手続きのお願いをメール済みです。
よろしくお願い致します。 事務局

佐原

「安全、安心、快適な自転車利用」
特定非営利活動法人 NPO KEEP LEFT
理事長 佐原 純一郎